

平成30年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 医療人材課
 担当名: 医師確保対策担当
 内線: 6014600

(単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
B23	地域医療教育センター運営費			一般会計	衛生費	医薬費	医薬総務費	医師確保対策費	
事業期間	平成28年度～	根拠法令	なし				宣言項目	02	健康・医療・介護の安心確保
							分野施策	020308	医師・看護師確保対策の推進
1 事業の概要 県立小児医療センター新病院の8階に付加機能として設置した地域医療教育センターを運営する。 (1) 地域医療教育センター教育・研修用機器整備経費 契約差金等による減 $\Delta 23,430$ 千円 (2) 地域医療教育センター運営経費 病院局への負担金の減及び事務費の節減 $\Delta 5,624$ 千円				5 事業説明 (1) 事業内容 ア 地域医療教育センター教育・研修用機器整備経費 $54,332$ 千円 県立小児医療センター新病院に付加機能として設置した地域医療教育センターで、医師や看護師をはじめとする医療従事者向けの研修などを行うために必要なシミュレータ機器の購入経費 イ 地域医療教育センター運営経費 $20,372$ 千円 県立小児医療センター新病院に付加機能として設置した地域医療教育センターで、医師や看護師をはじめとする医療従事者向けの研修などを行うために必要な各種運営経費や、小児医療センターが一括契約する水道光熱費や各種委託契約に対する負担金 (2) 事業計画 平成29年度 教育の基本方針(3つの柱)「人材育成」「チーム医療」「地域医療」に沿ってシミュレータを購入。センターが本格的に稼働。 平成30年度 本格稼働初年度の経験を踏まえ、医師の認定資格取得のための研修を実施するなどし、より県内の医療従事者の確保・誘導が図れる研修環境を構築していく。 (3) 事業効果 シミュレーション機器を活用した医療技術の研修等を行うことで、県内の医療人材の医療技術が向上すると共に、研修体制を充実させることで医師の県内誘導が進み、医師の確保が図られる。 (4) その他 ア 県立小児医療センター新病院の8階に設置。専有面積約 $1,422$ m ² イ 医師、看護師をはじめとする医療従事者全般に対する研修機会実施のため、シミュレーション機器を備えた研修室や診察シミュレーション室などを設置する。 (5) 補正予算の概要 ア 契約差金、購入機器の見直し、企画研修講師謝金が見込みを下回ったことによる減 イ 病院局への負担金の減及び事務費の節減による減					
2 事業主体及び負担区分 (1) (県10/10)									
3 地方財政措置の状況 なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 $9,500$ 千円 $\times 3$ 人 $=28,500$ 千円									
				財 源 内 訳					
予算額		財産収入	諸収入	県債				一般財源	補正後の予算額
決定額	$\Delta 29,054$		$\Delta 218$	$\Delta 20,000$				$\Delta 8,836$	$45,650$
現計額	$74,704$	811	570	$34,000$				$39,323$	